

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 3 月 20 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401350		
法人名	医療法人NANOグループ		
事業所名	グループホーム菜の花		
所在地	〒859 - 2412 長崎県南島原市南有馬町乙 1565 番地 1		
自己評価作成日	平成 24 年 2 月 14 日	評価結果市町受理日	平成 24 年 3 月 28 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 24 年 3 月 8 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

診療所と併設しているグループホームなので、医療的に重度の利用者が多いですが、医療面では診療所と連携をとり、利用者一人一人の状態に応じて、医療的に十分なサポートが行われている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

敷地内にある医療法人を母体とする当該ホームは、毎日の密な医療連携が緊急時や状態変化に応じ速やかな対応ができることから利用者はもとより家族、職員の安心と信頼に繋がっている。重度化に伴い外出が難しい利用者が多いことから活動的なアプローチが難しいながらも「何か楽しい事をして差し上げたい」と小さな表情の変化を見逃さないよう、声かけやスキンシップを大事にした、心寄り添うケアが実践されている。また、重度の方に対するケアをしながら本人や家族の意思に沿った支援をしていきたいと話す管理者の真摯さや前向きな姿勢が伝わる事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「一人一人の意志及び人格を尊重し自由に安んじ生活できる」を理念に掲げ、契約書や重要事項の同意欄に記述し、家族への理解へ繋がっている。月に1回カンファレンスを開き、利用者の希望に沿えるよう意見を出し合い実践に繋がっている。	管理者は、理念について日頃から話す機会を持つことで、随分浸透してきたと感じている。意思の伝達が難しい利用者にも必ず声かけし、反応を確認してからケアを行う事が自然にできるようになっており、サービスの向上に繋がっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には、出来るだけ利用者、職員も参加するようにしている。家族の方にも声をかけ行事に参加してもらうようにしている。	法人を通して地域や家族の方とバーベキューを行ったり、原城マラソンの応援を通して地域の方との交流を楽しんだ。地元中学校の福祉体験の際には、世代間交流の貴重な時間を持つ事ができた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	理解、支援の方法はあまり生かされていない。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そのでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議後、議事録を作成しカンファレンスで全職員へ報告を行っている。その時、出た意見を元に話し合いを行いサービスの向上へと繋がっている。	今年度は会議を4回開催しており、年度末までに合計6回の開催を予定している。会議の議事録は家族にも配布する事があり、会議の存在や内容を明示し、透明性を図られている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所で困っている事や分からない事は、市町村へ連絡し、協力を得ている。	島原半島グループホーム連絡協議会に参加し相談・情報交換や不安の解消に繋げており、行政には転倒予防についての相談や助言を仰ぐなど、協力関係を築いている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が理解できているとは言えない。身体拘束はしないように取り組んでいるが、やむを得ず身体拘束を行う場合は、本人、家族の同意をもらっている。</p>	<p>新人職員を中心に拘束に対する研修を行い認識を深めている。医療面での支援の際にやむを得ず使用する事もあるが、基本的に拘束しないよう医療スタッフにも相談して共に取り組んでいる。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の研修や勉強会がある時は参加している。虐待が見過ごされることがないように全職員が注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修がある時は参加しているが、学ぶ機会がほとんどない。その為、活用できるような支援はできていない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明を行い、本人、家族に納得してもらってから署名、捺印をもらっている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時に心がけてコミュニケーションをとり、意見や要望を聞き、運営に反映させている。</p>	<p>全職員が家族の面会時に利用者の日頃の様子を伝えたと共に、「困っている事はありますか」と言葉を添えて本人や家族の思いに添えるように心がけている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回カンファレンスを行い、職員の意見や提案を聞き、運営に反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議で法人会議の報告や、利用者のケアの提案、行事の相談をしながら全体で取り組むようにしている。経験に応じて新しい仕事を任せられることで業務の幅も広がり自信にも繋がっている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>資格手当や能力給等で給与に反映し、やりがいが持てるようになっている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者が先頭に立ち、研修や勉強会を受ける機会を作り、職員の育成に努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に入会しており、話合いや勉強会を通じてサービスの質の向上に努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所する前やホームの説明を行う時に、不安な事や困っている事、要望など詳しく聞き安心してもらえる関係作りに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族にも、ホームの説明時に不安な事や困っている事はないか話を聞き、受け止める努力をしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族にどのような支援が必要か話合いを行い、対応に努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>自分でできることは自分でしてもらっている。また洗濯物をたたんだり、職員との共同作業を行うなどして関係作りに努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族が面会に来られた時や電話等で日々の状況、状態を伝えている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族以外の面会はあまりないが、時おり、親戚やデイケアの知り合いの方が来訪されることがある。</p>	<p>法人内のデイケアを利用する親戚や知人の訪問があったり、他科受診の帰りに住み慣れた場所や街並みを眺め、時には買い物時間を設ける等関係継続の支援に努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食事は、食堂に全利用者が集まり食べてもらうようにしている。また行事には利用者同士が交流を深めてもらうよう努めているが、気が合わない方もいるので難しい所もある。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された後も、出会ったときは話しかけ関係を断ち切らないようにしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人、家族へ訪ね、ケアプランの中に取り入れて把握し、その希望に応えるように努めている。</p>	<p>基本情報や看護サマリー、家族の話の中から生活歴を把握し、また目の動きや顔くしぐさ等、毎日の会話や声かけの際の表情をみながら、本人の思いを理解している。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人、家族に生活歴や環境、暮らし方を聞き、把握に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>基本情報やアセスメント、日計表等で、きちんと現状の把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントを基にケアプランを作成するときは、本人、家族、介護職員、医師、看護師の意見を聞き、介護計画を作成している。</p>	<p>期間毎に家族への情報提供がなされており、1カ月毎の評価を実施する事で次へのプランに繋がっている。プランの作成には医師、看護師、リハビリ職員等の専門職の意見を聞きながら、チームでのプラン作成となっている。</p>	<p>生活記録は職員間の情報共有の大事な手段であり、対応方法や表情の変化を記載する事で、見直しの際の大切な材料のひとつとなると考えられるため、記載方法等の振り返りを期待したい。</p>
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護日誌に、日々の記録を記入し、申し送り等で情報を共有している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の状況によって、柔軟なケアを行っている。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の医療機関や理美容などを活用している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>併設クリニックと連携を図り、適切な医療が受けられるよう支援している。本人の希望に応じた係りつけの眼科、歯科を受診している。</p>	<p>入院から入居に至る利用者が多く医師や職員も入居前後と継続して状態を把握しており、本人家族からも安心と信頼を得られている。他科受診も支援されており、歯科は訪問受診も可能である。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>異常時や気づいた事があれば、看護師に報告、相談をし指示を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>併設クリニックの医師、看護師と常に情報交換、相談を行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族、医師、看護師、介護職員と話し合いを行い、全職員で方針を共有しチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>これまでも看取りの経験を重ねており、医師や看護師と共にチームで取り組んでいる。注意を要する事項に関して看護師からのレクチャーを受け、身体の変化に対して職員や家族と共に最期を迎える心の準備に安心が得られている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署主催の研修や勉強会に参加しているが、定期的に訓練は行っていない。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署立会いのもと避難訓練を行っている。</p>	<p>非常食や準備品など法人全体で話し合い準備中である。また、新たに震災対策委員会を設置し、より防災に対する意識を深めるよう取り組んでいる。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや対応の仕方には気をつけている。全職員が優しい気持ちで声かけを行うように努めている。	接遇に関する外部研修を受け、言葉使いや利用者に向き合う姿勢等職員のスキルアップに努めている。利用者間のトラブルが生じた際には席の配置を考慮し、会議等で意見を出し合い解決に向け取り組んでいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の考えを押し付けたりする事はなく、本人が自己決定できるように働きかけている。また利用者の意見を尊重することを第一に考えて支援を行っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせているが、時々職員の都合に合わせて過ごさせてしまっている時がある。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服を着替えてもらう時は、利用者に尋ねながら支援を行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日ではないがテーブルを拭いてもらうようにしている。後片付けはほとんど職員が行っているが、おぼんに食べた食器を乗せてもらう等、簡単な後片付けはできるだけしてもらうようにしている。	法人の栄養士がメニューを作り、彩りに配慮した手作りの食事が提供されている。1日、15日は赤飯の日とし、日にちの感覚認識に繋がっている。年末はおやつにべた餅を手作りし利用者に喜ばれた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が栄養バランスを考えメニューを決めている。食事チェック表で食べる量を把握している。利用者によっては水お分チェック表等を行い対応している。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアができる利用者は毎食後自分で口腔ケアを行ってもらっている。難しい利用者には職員が介助で行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ウロシートを作成し、一人一人の排泄パターンを把握している。利用者がトイレを訴えた時や時間等を見てトイレ誘導を行い支援している。</p>	<p>排泄チェック表をもとに、できる方については日中声かけ誘導でトイレでの排泄を促しており、希望がある時はその都度誘導する事で自立支援に努めている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>牛乳やヨーグルト、芋等を提供するようにしている。定期的に水分補給やトイレ誘導を行っている。便秘気味の利用者は腹部マッサージを行い、便が出やすいように支援している。便秘になりやすい利用者は下剤等を使用し排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>時間帯については本人に尋ねるようにしている。入浴を拒否された時は、本人の希望を聞き日や時間をずらして入浴してもらうようにしている。</p>	<p>週2回の入浴を基本とし、希望があればその都度入浴を実施している。重度の方に関しては少なくとも週1回の入浴また清拭を行い身体保清に努めている。洗髪器の購入でより楽に洗髪できるようになった。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼夜逆転傾向の方は声かけして覚醒を促したり、離床してもらうようにし、良眠できるように支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人の薬リストを作成しており、薬の目的や副作用を把握している。職員が服薬の支援と症状の変化の確認を行っている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個人の役割や楽しみごとの支援はほとんどできていない。全体の行事にて楽しみの支援を行っているのみ</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>希望があれば天候等に注意し出かけられるよう支援に努めているが、車椅子の方が多く希望に添えない時がある。</p>	<p>気候をみながら外出の予定を立てるが実践に繋がらず、庭先での日光浴や外気浴を日々行っている。ホールにはその時々のお花を準備したりと工夫して、季節を楽しむ支援をしている。</p>	<p>利用者の中には外出可能な方もおられ、外出する事で得られる利用者の笑顔は職員の更なる喜びに繋がり、仕事に対する意欲向上にもつながるため徐々に外出の機会を増やし定期的な実践に繋がるよう期待したい。</p>
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を管理できる方は、本人に任せている。難しい方はほとんど家族へ委ねている。必要な物がある時は、家族や職員が買い物に行っている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話は希望があれば支援している。手紙は書く方がいないので支援されていない。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間には十分ではないが季節感や生活感を取り入れ、出来るだけ居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	<p>静かで落ち着いた雰囲気のある食堂の奥には、畳とテーブルが設置され寛げる空間が準備されている。食事をしながら庭を眺める事が出来る大きな窓があり、四季を感じながら過ごす事が出来る。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間や食堂など、利用者同士が自由に使っていて、思い思いに過ごせるよう整えている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と話をし、本人が使いなれた物や好みの物があつたら、持ってきてもらうようにし、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。	ベッドは備え付けであるが寝具や身の回りの道具、衣装や時計ラジオなど思い思いのものを持ちこまれており安心して自分らしく過ごされている居室の作りであった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや廊下に手すりを設置している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない